

# 農山漁村地域整備計画事前評価調書

計画の概要	計画の名称	第4期あいち食と緑の森林基盤整備事業計画
	計画策定主体	愛知県
	対象市町村	岡崎市、豊田市、新城市、北設楽郡設楽町、東栄町、豊根村、尾張旭市
	計画期間	平成31年度～令和3年度（3年間）
計画の目標	<p>路網整備をおこない木材生産の効率化をはかるため、また林道施設の点検・整備を適切に行うため育成林整備事業、林道改良事業及び林道点検診断・保全整備事業を実施する。</p> <p>本整備事業計画に基づく共生環境整備事業を森林公園や愛知県民の森において実施することで、来園者が気軽に林内を散策して森林環境を直接体験できるように整備し、森林体験や作業体験を通して来園者へのPRを行い、利用者の増加につなげることで、さらなる利活用の展開をはかる。</p> <p>花粉発生源となっているスギ及びヒノキの人工林を対象に、立木の伐倒、花粉症対策苗木の植栽を行い、花粉の少ない森林への転換を図るため、機能回復整備事業を実施する。</p>	
評価指標	<p>路網整備により、当地域の木材生産量の増加を図る。(0m3→200m3)</p> <p>林道橋梁の点検診断の実施により、個別施設計画の策定率の増加を図る。(策定率100%)</p> <p>愛知県民の森の利用者導入により、年間利用者数の増加を図る。(50万人→52万人)</p> <p>森林公園の利用者導入により、年間利用者数の増加を図る。(100万人→108万人)</p> <p>県の花粉症対策苗木の植栽面積の増加を図る一環で、花粉発生源植え替えを行う。(0ha→3.5ha)</p>	

ランク	評価基準	判定基準
評価 I	全項目が○である。	事業実施
評価 II	1項目でも×がある。	計画の見直し

評価結果
I

評価	項目	評価項目	評価	評価根拠
	目標の妥当性	・関連する計画との整合が図られているか	○	・地域森林計画及び県有林の計画と整合を図っている。
		・地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	・木材生産の効率化のための路網整備及び森林体験の場の確保や花粉発生源対策など地域の課題を解決するための森林整備を行う計画となっている。
	整備計画の効果・効率性	・整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	・木材生産量、森林公園・県民の森の利用者数、花粉症対策苗木の植栽面積を定量的指標としており、目標と整合性がとれている。
		・事後評価ができる適切な指標となっているか	○	・県の実績調査等による把握可能な指標となっている。
		・構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	・事業実施による効果が事業目的に即した指標となっている。
	整備計画の実現可能性	・円滑な事業執行の環境が整っているか	○	・県内の執行体制は整っている。 ・技術的条件・自然条件などの側面から検討し、実施可能な計画となっている。
		・地元の機運が醸成されているか	○	・県産木材の利用、森林環境、花粉症発生源対策に対する県民の注目度は高い。